



中部電力

## ダム湖の特定外来生物（植物）の駆除方法

# 特定外来生物の 植物を駆除して、 生態系を守ります。

### 背景・目的

- ダム湖周辺に侵入した特定外来生物（植物）は繁殖力が旺盛で、通常の草刈りでは駆除が不可能となっています。
- さらに、植物群落が下流域へ拡大し、周囲の生態系への影響が懸念されています。
- 本研究は、特定外来生物であるオオハンゴンソウとアレチウリを対象とし、薬剤による駆除方法を研究中です。

### 特長

- 完全に枯らして裸地化せずに、対象植物を駆除できる薬剤利用技術
- これにより、貴重な植生も含めた本来の生態系の復元が可能
- 薬剤散布の回数は、適切な時期であれば、年1回で十分（散布時期は植物種、気象条件に応じて決定）

### 用途

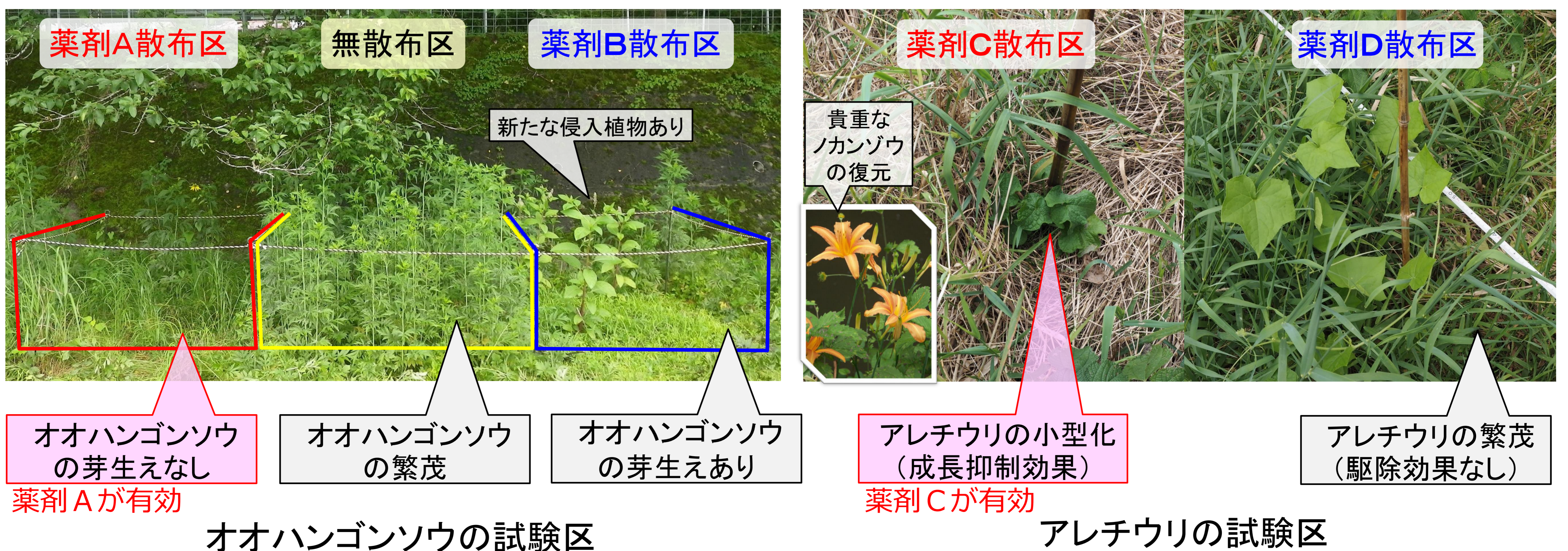
- 河川管理施設および周辺地に侵入する特定外来生物（植物）の駆除



オオハンゴンソウ

アレチウリ

特定外来生物（植物）



オオハンゴンソウの芽生えなし  
薬剤Aが有効

オオハンゴンソウの繁茂

オオハンゴンソウの芽生えあり

オオハンゴンソウの試験区

貴重なノカンゾウの復元

アレチウリの小型化（成長抑制効果）  
薬剤Cが有効

アレチウリの繁茂（駆除効果なし）

アレチウリの試験区

### 開発者の ひとこと

特定外来生物（植物）は平成28年10月1日に3種追加（合計16種）され、今後も増えていくと思われます。本研究において駆除効果の高い技術を確立し、研究成果を社内外で発表することにより、これからも生物多様性の保全に貢献できる研究開発に努めていきたいと思っております。